

はんないり ~仏様の世界~

今回の修学旅行では、仏像と出会う機会が多くあると思います。「有り難いのはわかるが、あんまり興味はありません」という人がほとんどでしょう。そこで、簡単な仏像の見方について紹介したいと思います。ちなみに、昨今、ちょっとした仏像ブームで、「仏像が好き」「お寺めぐりが好き」という「仏像女子（仏女）」が急増中とのこと。NHKでも「アイドルと巡る仏像の世界」という番組があるほどです。

仏像って、お寺は勿論のこと、お仏壇や町角のお地藏さんなど意外と私たちの生活に身近にあるものです。なので、難しく考えなくても大丈夫。たとえば「あの仏像はなぜあんな表情なの？」とか「持っているのは何かな？」とか、ちょっとした違いを知っているだけでもいろんな発見があり、仏像をみるのが楽しくなりますよ！

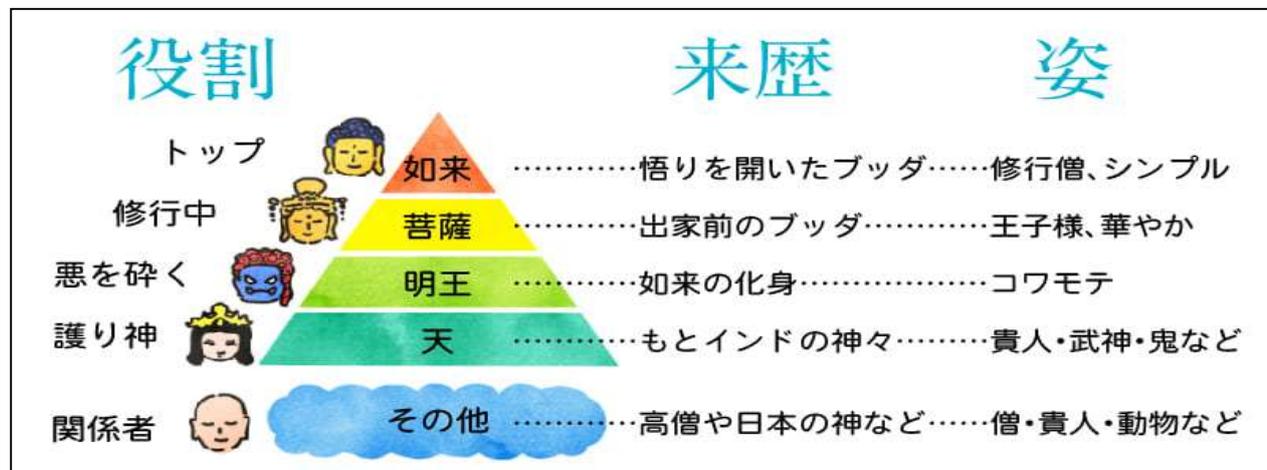
仏像は、仏教を開いた人であるお釈迦様の死後、仏教を信仰している人々が「お釈迦様の姿を拝みたい」と、そのお姿を像にしたものです。仏像の多くが、くせ毛のような巻き髪をしているのは、お釈迦様がインド出身という背景があるともされています。仏像の歴史をさかのぼると、初めから人の形をしていたわけではなく、最初はお釈迦様の足の裏の形をかたどったモノを拜んでいる時代もありました。初め



の方はお釈迦様のお姿を作ることはおそれ多かったです。ところが月日が流れるにつれて、やはりもっと具体的なものを拝みたいということで、お釈迦様のお姿をかたどった現在の仏像が作られるようになりました。

これが仏教界での一般的な説明ですが、世界史的に言えば、偶像崇拜のギリシア風のヘレニズム文化が、アレクサンドロス大王の東方遠征により、インドの地にも伝わり、インドでも神様を偶像で表わすようになったというべきでしょうか。

このように、仏像の始まりは、お釈迦様の姿が刻まれたものだったのですが、そこから仏教の広まりとともに、様々な種類の仏像が誕生しました。古来インドの神が仏教の中に入ってきたり、実在の人間が仏化した像も生まれたり、どんどん派生していったのです。



学校で例えるなら、如来が「校長先生」、菩薩が「若手の先生」、明王が「生徒指導部の先生」、天が「保健の先生や警備員さん」と言ったところでしょうか。

仏像界トップの仏さま「如来」：悟りを開いたブツダ（修行僧）がモデルで、シンプルな服装

- 釈迦如来**：ご利益（悟りを開き、煩惱を消す等）…協侍として文殊菩薩・普賢菩薩が仕える
- 阿弥陀如来**：ご利益（死後、極楽浄土へ生まれ変われる等）…協侍として観音菩薩・勢至菩薩が仕える
- 薬師如来**：ご利益（病が治る。お産が楽になる等）…協侍として日光菩薩・月光菩薩が仕える

如来になるため修行中の「菩薩」：出家前のブツダ（王子様）がモデルで、ドレスアップしている

- 聖観音**：ご利益（あらゆる災害から逃れることができる等）
…額に仏像が付き、手に蓮華のつぼみを持つ。
- 十一面観音**：ご利益（その時その時に現れ、正しい教えを教えてくれる等）
…額にいくつもの仏さまの顔がある。
- 千手観音**：ご利益（千の眼と千の手で、生あるものを救う等）
…いくつもの仏さまが額にあり、いくつもの手がある。
- 如意輪観音**：ご利益（欲しいものをすべて手にいれることができる等）
…多数の手をもち、立膝で座る。膝に肘をつき、頬に触れている。
- 馬頭観音**：ご利益（全て「うまくいく」。草を食べるように障害を食べてくれる等）
…額に馬をつけている。3面で手が8本ある。
- 地藏菩薩**：ご利益（五穀豊穡。地獄を仕切る。大地の母胎。身近な存在で我々を守ってくれる等）
…剃髪している。手に錫杖と宝珠を持っている。
- 文殊菩薩**：ご利益（頭が良くなる。弁舌が巧みになる。空さえ飛べる霊験がある等）
…獅子に乗っている。手には殆んど剣と経を持っている。
- 虚空蔵菩薩**：ご利益（記憶力が良くなり、成績が上がる等）
…額に五仏がついている（五如来）。右手に剣、左手に宝珠をもつ。



悪を砕く「明王」：優しい姿では教えない人々のために如来が怖い姿に変身している

- 不動明王**：ご利益（すべてのことに効果がある。煩惱を打ち砕く等）…右手に剣、左手に縄を持つ。
- 愛染明王**：ご利益（恋愛を成就させてくれる等）…赤い仏さま。額に獅子の顔が付いている。
- 孔雀明王**：ご利益（若返り、延命を与えてくれる等）…孔雀に乗っている。孔雀の羽を持っている。



仏教を護る「天」：バラモン教などインドの神や日本古来の神が仏教に取り入れられた仏様

男女の貴人・武神・鬼など（阿修羅のように見た目や名前前で判断がつかない仏様は、天であることが多いです）

- 梵天**：髪を結い礼服を着た貴人
- 吉祥天**：古代中国の貴婦人がモデルといわれる
- 金剛力士**：いわゆる仁王さま。半裸で怒りの形相、金剛杵こんごうしょという武器を持つ
- 阿修羅**：三面六臂（さんめんろっぴ [3つの顔と六本の腕]）で武器を持つ事も。

仏教関係者「その他」

高僧や宗派を開いた祖師、神と仏の融合や仏像周りの動物など人・神さまから生き物まで様々な姿